

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所くすみ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・民家を利用し家庭的な雰囲気支援を受けられる。	・家に帰ったらまずおやつを食べるや宿題をするなど、家庭でも同じ生活の流れが出来るように取り組んでいる。	・家庭での要望等を把握し、ニーズに答えていきたい。
2	・個別の部屋もあり個別支援、集団支援の使い分けが出来る。	・児童の特性や活動の内容に応じて部屋を使い分けしている。	・それぞれの特性に合わせた支援を行って行きたい。
3	・体育館が近くにある。	・雨の日でも利用が出来る、遊びやスポーツを楽しんでいる。体を動かすことやスポーツが苦手な児童も遊びの中で集団活動に参加し、楽しむことが出来る。 ・また、作業療法士の実践の場を広げることが出来る。	・ボール遊びやドッチボールだけでなく、バトミントンなどのスポーツの練習をし、地域のスポーツ教室にも参加出来るよう手助けしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が中心街から外れており、送迎に時間をとられる。	・学校との連絡を密にすることと円滑な移動に心がける。	・時間の確保が難しい局面では社会性を重視した支援を考えたい。
2	・地域と交流を持つ機会が少ない。	・情報の入手を積極的に行う。 ・日常的な繋がりを強化する。	・年間計画を作り参加出来る行事をピックアップし、あらかじめ準備する。
3	・支援室が畳の部屋が多く車椅子の移動が困難。	・借家の為、バリアフリー化に課題が多い。	・クッションマットなどを敷き、段差を軽減していくことで、車椅子での移動がしやすいようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所くすみ

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 30名

回収数 21名

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	空欄		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2	0	3	0		・職員の配置は出来ています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	0	1		・部屋に「くま」「りす」「どんぐり」と名前を付け分かりやすくしています。 ・全体でスケジュールボードを作成したり、個別での確認も出来るようにしています。 ・借家の為、畳や敷居などがあり、全面バリアフリー化は難しい所がありますが、声掛けをしたり、工夫をしながら対応しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0	1		・衛生面、感染予防の観点から、清掃、消毒等行っています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	0	0	0	0		・児童に対し、それぞれの障害特性に応じた支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	0	0		・支援プログラムは2月下旬にホームページにて公表します。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	0	0		・日々の記録や面談、送迎時での情報共有などをもとに会議を行い職員間で検討し、作成しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	0	0	0		・季節に応じた活動内容を毎月検討したり、体育館を利用することで体を使った活動もしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	6	1	10	0	・月2回の利用なので分かりません。	・保護者の同意を得ながら、地域の活動に参加します。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0	0		・そのつと、変更時にお知らせしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0	0		・面談時に計画の内容を説明しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	2	4	1		・保護者向けの研修会の案内をそのつと行います。

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	空欄		
保護者への説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いませんか。	20	1	0	0	0		・送迎時、情報共有しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2	0	1	0		・面談日を設け、支援についてお話 しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いませんか。	21	0	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている か。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだ い同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がさ れていますか。	7	4	4	6	0	・保護者会やきょうだい交流会を望 んでいるわけではないので、現状の ままで構わないです。 ・学年が上の子の保護者さんの話が 聞きたいと思うこともありますが、 その時は職員の方に相談したり、茶 話会に行ってみたいと思っています。	・保護者やきょうだい同士が交流出 来る行事も取り入れていきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備さ れているとともに、こどもや保護者に対してそのような場がある ことについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されていますか。	21	0	0	0	0		・家庭にも協力してもらい出来るだ け適切に対応出来るよう努力してい ます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ ていると思いませんか。	21	0	0	0	0	・送迎の際に1日の様子を教えてい ただき安心しています。	・送迎時やLINEを活用することによ り情報共有しています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護 者に対して発信されていますか。	18	3	0	0	0		・定期的にくるみだよりを発行し、 活動での様子や行事の予定などお知 らせてしています。自己評価表は2月 下旬にホームページに掲載します。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いませんか。	18	1	0	1	1	・事務所内での管理体制は見るこ とが出来ないので分かりませんが、外 部や他の媒体が関わる際は確認を 取っていただき留意されていると感 じます。	・個人情報の記載されている物は、 鍵付きの棚に管理しています。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯 マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周 知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施され ていますか。	21	0	0	0	0		・マニュアルについては玄関の所に 掲示しています。変更については、 そのつど面談の際に周知していきま す。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	0	0		・避難訓練は、3月に行います。 ・火災や地震などの学習を活動の中 に取入れています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知さ れる等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると 思いませんか。	21	0	0	0	0		・交通安全や身の回りの危険な物に 関して児童と話し合っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな 連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いませんか。	19	1	0	1	0		・体調不良やケガの際、保護者に連 絡をとり対応しています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	3	0	0	0	・学年の違う子どもたち（お友達） とのかわわりを楽しみにしている。 ・月2回リフレッシュさせていた だいています。	・安全に注意しながら安心して通所 出来るよう心掛け、「まだ行きだ い」「通わせたい」と思っ て頂ける支援出来るよう努力していき ます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0	1	・学校や家庭とは違う自分を 出せており穏やかになる。	

事業所名		放課後等デイサービス事業所くるみ				公表日	令和7年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・借家（民家）の為、広さはないが活動内容に応じてスペースを分けています。部屋を区切ったりグループ分けをして体育館や他施設を利用する等の工夫をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		・パートを募集するなど、職員数を増やし個々の児童に対して個別支援をもっと充実させていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	・個別の部屋、広い部屋と2つに部屋を分けることが出来ます。	・借家で畳を利用している為、車椅子の移動が難しく、車椅子対応のバリアフリー化は全面化されていません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		・衛生面、感染予防の観点から清掃、消毒等行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		・環境の面では、改善が必要とされる場合があります。 ・児童の特性によりパーテーションを用意したり、別室にて対応することもあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・ミーティング、振り返り等を行い、情報共有し連携をとっています。	・職員間でミーティングをする中で、目標や振り返りについて共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・アンケート結果をもとに、職員間で話し合いを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・ミーティングをする機会を多く持ち、そのつど検討しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・第三者委員会の設置はありません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			・法人内や地域で開催される研修に積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2		・支援プログラムは、職員で協議し作成しています。ホームページにて公表します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・児童の得意なところをもっと活かせるような計画になるよう、職員や保護者と話し合い、計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援計画を作成する際には、職員全体で意見を出し合い検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			・個々の支援計画に沿ってより丁寧な支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・発達検査やアセスメントシートを参考にし、1日の様子を職員間で話し合っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・職員や保護者との話し合いの中で支援内容を決め、児童に必要な活動や項目を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・月に1回、職員間で活動プログラムや、行事予定を考えています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・体育館の利用やイベントなど新しい活動を取り入れることで固定化しないようにしています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて活動を変化させています。</li> <li>状況に応じた計画を作成しています。</li> </ul>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の内容や役割分担を活動予定のスケジュールボードに記入しておき、ミーティングで確認しています。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>支援の振り返りを行い、情報共有や支援の見直しを行っている。出来ない時は次の朝行っています。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なモニタリングを行っています。</li> </ul>
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>基本活動を組み合わせ支援しています。</li> </ul>
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の意思を尊重しています。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>担当職員が参加しています。</li> </ul>
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>障害福祉、保育、教育面では関係機関との連携は取れているが、医療面に関しては家庭と情報共有しています。</li> </ul>	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との情報共有を引き続き行います。</li> </ul>
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>見学や情報共有を行っています。</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、対象児童がいません。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて助言や研修を受けています。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者に同意を得ながら地域の活動に参加しています。</li> </ul>
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所としては参加していないが、法人で参加し情報共有しています。</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や面談により、家庭での様子やくるみでの様子など情報を共有することで共通理解が出来るようにしています。</li> </ul>
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向けの研修会の案内はしています。</li> </ul>	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に説明し確認しています。保護者より不明な点がある場合は、そのつど説明しています。</li> </ul>
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>面談時に確認しています。</li> </ul>
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>面談時に同意を得ています。</li> </ul>
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>相談しやすい環境を作っています。</li> </ul>

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・現状では出来ませんが要望があれば検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			・迅速に対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・定期的にくるみだよりの発行を行っています。	・日々の活動の様子や連絡事項等についてより分かりやすく伝えられるよう工夫していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・鍵の付いた書棚に管理し、十分に注意しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		・PECSや視覚的に理解出来るものなど、児童に合わせた方法を活用しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・里カフェを開き地域の方とふれあう機会も企画しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・様々な状況を想定した訓練やマニュアルの周知徹底を心掛け、より細かい対策をしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			・そのつど保護者に確認し対応しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			・交通安全や防災訓練等を活動の内容に取り入れています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		・周知が不十分なところがあるので、面談やくるみだより等を利用して周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・気付き等あればそのつど、ヒヤリハットを作成して職員間で周知しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・年1回は必ず研修を実施し、参加出来なかった職員には復命をしています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		・身体拘束について職員間で共通認識を図っています。必要な場所は保護者に説明していきます。	